

△産業宣教：237 と第 1、2、3、RUTC の答え 24 (8) 荒野で産業人が見るべき 24(出 23:16)	△核心訓練/第 1、2、3RUTC の答え 24 (8) ネフィリムを止める唯一の道(創 6:4-5)	△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1、2、3RUTC の答え 24 (8) レムナントの理由(マタ 27:28)					
<p>方法(99.9%) - 99.9%の人々が誤った方法で歩いていっている。 0.1% - 0.1%の人々が荒野の道を正しく行ったのだ。 霊的状态-作られる霊的状态の後に答えがくる。霊的状态が成り立てば無条件だ。</p> <p>□序論_荒野-私たちは実際に荒野にいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 理由(暗やみ)-荒野にある理由、エジプトに行った理由から知らなければならぬ。福音が分からないから暗やみの中にいるしかない。 40年(刻印-根、体質)(根本) - 40年を荒野に置かれた理由は、刻印されてこそ根、体質になる答えが来るからだ。霊的状态が間違ったられば、その後何があるのかということを知りたい。みなさんが霊的な力を得てしまえば終わるのだ。 目的(準備)-荒野の道を40年も行くようにされた理由は、世界福音化する準備をさせるのだ。 <p>□本論_私の産業と最も関わりがある世界を変えることができる三つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 三つの祭り <ol style="list-style-type: none"> 解放-私の産業が最もろいから解放された状態ではなければならない(過越祭) カ-私の産業に最も霊的な力がなければならぬ(五旬節) 背景(祈り)-私の産業と人生に最も重要な背景が神の国だ(仮庵祭) 契約の箱 <ol style="list-style-type: none"> 契約-契約が入っている絶対なくならない石の板 いのち-マナを入れた壺。神様が私たちにいのちを維持するように与えられた力があるのだ。 アロンの杖-アロンの杖に芽が出るようにされた。牧師の説教を通して神様が働かれるということだ。 幕屋 <ol style="list-style-type: none"> 出 26:1-37(キリスト)三位一体-幕屋は救いとキリスト、三位一体の神様を説明している。 会見の天幕-この祝福の中に集まるのだ。 天幕-私のすべての産業がただ神様に向かう祈りの列があるのだ。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 3, 9, 3 -三位一体の神様と御座の祝福と3時代をいつも祈りで味わわなければならない。 流れ-この(3, 9, 3)答えが今私にどの程度きたという流れがある。 一生-今日-その中で一生生きていく中での今日だ。一生カナンに行く中での今日だ。 	<p>□序論-道 24 ⇔ 関心(どの道に立っているかが 24。道は私たちの関心がどこにあるかということ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 福音のプラットフォーム、生かす物見の塔(WatchTower)、最高の道であるアンテナをみな奪われたのだ。 神様の最高の関心がある、その中にいれば良い。 深いシャーマニズム、深い呪術、深い霊的問題-多くの人々がここに陥っている。 サタンの関心 <ol style="list-style-type: none"> 創 3, 6, 11 -苦しみ、わざわい、混乱 使 13, 16, 19 -神殿、作品を作って金儲け 未信者 6 状態-ここに陥って死ぬようになる 私の立場、主張、成功-サタンにだまされてここに関心を持っている 教会 <ol style="list-style-type: none"> 神殿時代 2) 他のところ関心があるユダヤ人 3) 食べることにだけ関心がある民 <p>「ネフィリムを止める唯一の道」-その道にいる人だけ用いられた。</p> <p>□本論_五つを知っている人は正しい道に入るしかない。</p> <ol style="list-style-type: none"> ネフィリムの始まり-私、私のこと、私たちのことであれば、いのちをかける。だまされなければ無条件に勝利する。暗やみの勢力を砕かなければならぬ。ネフィリムに捕えられたということは、私に悪い霊が入ってきて座を占めたのだ。 <ol style="list-style-type: none"> 創 3:4-5 2) 創 6:4-5 3) 創 11:1-8 ネフィリムの方法 <ol style="list-style-type: none"> 強大国-霊的問題 237 化 2) 文化に入り込んだ 237 奴隷戦略をたてた ネフィリムの誘惑 <ol style="list-style-type: none"> 使 13 -シャーマニズム運動 2) 使 16 -占術 3) 使 19 -大きい神殿 ネフィリムの力(エペ 6:12) <ol style="list-style-type: none"> 主権-政策 2) カ-力がある人の中に入ったサタン 3) 悪霊 4) 犯罪 ネフィリムの目標(黙 12:1-9) -完全に混乱の中に陥るようにさせる。この(黙 12:1-9)道に入ってはならない。私たちはここから抜け出す道を持っている。 <p>□結論_二種類の人</p> <ol style="list-style-type: none"> 神様がいない者と神様が在る者 2. 宗教を持つ者と福音を持つ者 肉に属する者と祈りの人 仕事に引かれる人と福音を宣べ伝えることに切実な人 殺す者と生かす者 6. 偶像運動する者といのち運動する者 ネフィリムに属する者と霊的に生かす者 <ul style="list-style-type: none"> ・道(ロマ 16:20、I コリ 10:31) -教会、現場、家庭/家系 人を生かしてサタンをひざまずかせなさい。すべての栄光は神様に帰すのだ。 ・3, 9, 3(三位一体神様、御座 9、3 時代)が私に臨むように祈って、この祝福を伝えなさい。 	<p>□序論</p> <p>△24 祈り-Remnant は 24 祈りをどのように。問題があるとき、これを考えなさい</p> <table border="1" data-bbox="1473 272 2004 300"> <tr> <td>答え</td> <td>平安</td> <td>感謝</td> <td>力</td> <td>証拠</td> </tr> </table> <p>△Nobody = 「Remnant の理由」 = 証人→まことの答えは Nobody に</p> <p>□本論_なぜ会堂なのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 使 17:1 -キリストの当為性、始まりと終わり △理由なくついてくる運命とのろい、暗やみとサタン、地獄の背景から出なければならぬ。当然、十字架で死ななければならず、当然、復活するのだ。このキリストが始まりであり終わりだ。 使 18:4 -安息日ごとに、礼拝、黙想運動 △ヨハ 20:1、パウロが聖日ごとに会堂に入って礼拝を生かしたのだ。Remnant が現場でこの礼拝が伝えられる黙想運動を 使 19:8 -神の国、時代的作品 △暗やみが崩れてサタンと地獄背景が崩れる神の国。学業は基本であるからすること、学業を持って時代を動かした人はいない。Remnant は 5 次産業の主役。 Remnant が時代的作品を作るならば、この部分が出てこなければならぬ。 <p>□結論_正確なみことば(使 1:1-8)</p> <p>△いつでも正確なみことばを握りなさい。使 1:1-8、特に使 1:1, 3, 8 すなわち、キリスト、神の国、ただ聖霊、力、証人がここにある。神様みことばは生きてみことばであるので、一節を持ってずっと答え、ずっと働き。神様は未来を置いて途方もない準備をされておられるのに、私たちの水準ではやく答えを出す必要はない。</p> <p>△散らされた弟子たち/237、5000 を生かす第 1、2、3RUTC の答え 24 (8) 福音専門性キャンプ(使 1:8)</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 成り立つ弟子(RT7) -努力するのは基本だ。それを越えてこそ、成り立つ弟子として立てられる。 持っている者(3, 9, 3) -3, 9, 3 を持っていつも味わうのだ。 すると 237 と 5000 種族が見える。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 0%(0 順位) - Heavenly Power (上から与えられる力) -どれだけ信仰の中で契約を握って正確にいるかだ。これ(序論)を味わってれば 0 順位になって、ただ、唯一性、再創造がついてくる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) ただ 2) 唯一性 3) 再創造 福音専門性- Heavenly Talent (上から与えられるタラント) <ol style="list-style-type: none"> 1) 御座-御座の祝福を味わえば、ただ、唯一性、再創造がくるようになる。 2) 妨害-最も邪魔することが私自身だ。神様が願われるのが何かを考えるべきだ。 <ol style="list-style-type: none"> 3) カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間-妨害することがなにかを悟って、上から与えられる天才性を見つけて出す奥義 福音使命者- Heavenly Mission (上から与えられるミッション) <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 3:1-12 イエス・キリストの御名によって立ち上がった足のなえた人 2) 使 8:4-8 サマリヤいやし 3) 使 13, 16, 19 パウロの最高の働きの現場 <p>□結論_祈り-この祝福を祈りでいつも味わいなさい</p>	答え	平安	感謝	力	証拠
答え	平安	感謝	力	証拠			

△区域メッセージ(8週目) エッセイとダビデが味わった私の 24(詩篇 23:1-6)	△聖日 1 部礼拝 現場を生かす教会(マタ 9:1-8)	△聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 病人と罪人を招くために来られたイエス(マタ 9:9-13)
<p>△大部分の人々が大変だという話をし、現場を見れば苦しいことが多い。それゆえ、神様はは祈りという奥義を与えてくださった。</p> <p>□序論 祈り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定刻祈り-答えを受けて、まことの幸せを味わい、感謝回復、力を受けて、神様がともにおられる証拠を握る時間。証人が味わう時間 2. 24-祈りが 24 になれば、神様の祝福が刻印、根、体質となる 3. 25-このときから、目に見えない、とても大きな力ができて、未来が見え始める <p>△問題の中で定刻祈りを見つけ、現場の多くの事故の中で神様の祈りの奥義によって刻印、根、体質になれば、病んでいる者を生かす未来が見える。1サム 16:13、使 13:22 のダビデのように、この答えを持って証拠を握りなさい。この祈りの奥義が御座の祝福</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセイが見たこと-神様のみこころを知ってダビデを霊的サミットで育てた <ol style="list-style-type: none"> 1) 詩 78:70-72 重要な財産をダビデに任せた 2) 1サム 17:18 ゴリヤテが攻め込んだとき、ダビデが王になることをあらかじめ知って、しるしを持ってきなさいとお使いに出す 3) 詩 23:1-6 ダビデの詩 23 篇の信仰告白はお父さんに伝達されたこと 2. ダビデ-この祝福を味わっていたから契約をあらかじめ握るように <ol style="list-style-type: none"> 1) 1サム 16:13 最も重要な契約を握ったその日から主の霊が激しく下った 2) バランス-霊性と知性、信仰と実力、神様の契約と技能、この二種類を握った 3) 神殿-サムエルに会って契約の箱を移して礼拝する神殿を、契約として握った 3. 道を行く所ごとにその旅程の中でこの奥義を味わった <p>△ダビデは羊飼いだったとき、すばらしいことを育てる奥義の旅程を味わった。苦しみがきたとき、最高の準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 羊飼いだったとき、すべて準備 2) ゴリヤテの首を持って行くから、サウル王が驚いて「お前は誰か」と尋ねた。ダビデは「主のしもべ、ベツレヘムの人、エッセイの息子です」と答える。私たちが答えを受ければ主の御名が高められ、私たちが住んでいた所と親も栄光を得るように 3) 主がともにおられる方法を旅程によって違うように話す-主は私の羊飼ひ、とりで、避け所、避ける岩 4) 神殿作る準備を完成 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この契約を握るとき、事件が起こるたびに 100 年の答えが 2. 重要な答えを握って証人として立つたびに 1000 年の答えが 3. 今でも働きの起こるのに、永遠という答えが <p>△今日礼拝しながらすべての問題は証拠で、すべての現場を生かす 24 で、未来生かす 25 でこの契約を握って行くのだ。</p>	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人ゆえに神様の機会をのがしてはいけない-世の中の人々、うわべの成功者、教会に通うが福音がない宗教人は、神様を信じないで役に立たないから、力がなく病んでいる人々を無視して嫌う。 2. 病んでいる者、無力な者を邪魔した律法学者、パリサイ人が教会に通う人々だった。 3. 注意しなければならないこと <ol style="list-style-type: none"> 1) ガダラ地方の人々(マタ 8:34) -悪霊につかれた者をいやされたイエス様に、立ち去ってくださいと言った。その後にはイエス様がその地域に行くことはなく、福音が宣べ伝えられて生かされた記録がない。 2) カペナウム地方の人々(マタ 9:2) -イエス様に助けてほしくて中風の人を連れてきた。イエス様は最後まであきらめられなかった。信仰を持ってキリストの契約を握る者はイエス様が最後まで責任を負われる。落胆する理由がない。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。しっかりしなさい。あなたの罪は赦された」と言われた。(2節)何の力も、背景もない中風の人を 4 人が生かそうと担いできた。この人は助ける人がいなければ、イエス様に会いに来ることはできない。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 御座の祝福が臨んだ-キリストの契約を握る瞬間、すべての暗やみ、のろい、地獄の背景がなくなって、御座の祝福と力が臨む。それゆえ、いやしが起こったのだ。御座の力を伝達する人がいるならば、誰でもすることができるとははずだ。みなさんが御座の力を動かすことができるならば、世の中を動かすだろう。みなさんもこの答えを受けることができるので、あきらめてはならない。 2) 御座の技能も臨んだ 3) 御座のミッションが与えられた-「起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい」(6節) <p>△ロマ 8:31(39) どんなこともキリストの愛から切り離すことはできない。人の話、サタンのお話を聞いてあきらめてはならない。キリストに会った瞬間、終わったのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 「寝床をたたんで」(6節) -キリストは個人が御座化される時まで責任を負われる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) その権威を持って行きなさい。 2) 根源のいやし-キリストを知らず、人の声、暗やみとサタンに捕えられていることをいやし 3. 「家に帰りなさい」(6節後半) -キリストはみなさんの家と現場まで御座化される。 <p>□結論 五つになるときまであきらめてはならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト体験できる時まで、あきらめてはならない。 2. 未来が確かに福音になるときまで、あきらめてはならない。 3. 24、25、永遠が私の手で捕えられる時まで、あきらめてはならない。 4. 御座の祝福が見えるときまで、あきらめてはならない。 5. 世界福音化されるときまで、あきらめてはならない。 <p>△目が見えないバルテマイが大声で叫んだのだ。「私をあわれんでください」一番良い祈りだ。そこにキリストが歩みを止められた。終わったのだ。キリスト体験がこのように重要なのだ。</p> 	<p>△今日は、宣教献身礼拝だ。私たちみんなが宣教しなければならない祝福を受けている。</p> <p>マタ 28:16-20、マコ 16:15-20、使 1:1-8 -この祈りをずっと味わえば良い。問題は答えがずっと来ているのに、私の考えのゆえにのがすこと。考えをたくさんすれば何かを握るようになって、祈りをたくさんすれば何か見えるように。</p> <p>問題(マタ 13:11-13) (3, 6, 11) -問題をを通して答えがくるのに、神様が与えようと隠された。創 3、6、11 章、私中心を悪魔が誘惑</p> <p>△イエス様は宣教するとき、一番最初に病人と罪人を招きに来られた。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取税人-中間のお使い、当時、取税人はローマの使いをしながらお金を巻き上げる罪人。イエス様は直接、取税人を訪ねて行かれた。まことの力を持つ伝道者ならば、本当に福音ならば、そうしなければならない 2. キリスト-キリストは私たちが信仰告白するとき、そこを御座化。キリストに会う瞬間、私を御座化。教会は王も召使しも奴隷も礼拝する所、御座の祝福を悟って人を生かす所だ 3. のろい-キリストによって三つののろいの解決 <p>□本論_どのように宣教しなければならないのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 罪人を呼んで証人にすることが宣教 <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪ねられる-イエス様がマタイを訪ねて行かれた 2) 弟子-イエス様がともに食事をした。これは、弟子にされたこと 3) マタイの福音書を記録。福音と伝道は罪人を証人にすること 2. 病人をキリストの御名で根源的いやしをして証人にすることが宣教 <ol style="list-style-type: none"> 1) 長血の患者をいやされた。 2) 中風の人をいやされた。 3) 口のきけない者もいやされた。 4) ツアラアト患者もいやされた。 5) 悪霊につかれた者をいやされた。 <p>△イエス様は病院で手におえない人々をいやされた。私たちにもマコ 16:15-20「わたしの名によって…病人に手を置けば病人はいやされます」と言われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 捨てられた者を呼んで証人として。人材を探して霊的問題をいやしてあげなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 異邦人の庭 2) 子どもたちの庭 3) 祈りの庭 <p>△聖書に神殿建築と伝道に最も重要なのがいやし。多民族と Remnant を神様が願われることで育てるべき。</p> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Remnant、TCK が Heavenly Power、Heavenly Talent、Heavenly Mission を握るべき 2. 来ている多民族が福音の中で 0 順位になるべき。 3. エリートは霊的問題が多い。彼らを生かすためにエリートになるべき <p>△3, 9, 3 を受け入れることが祈りだ。これが聖霊の満たしで、これが私たちの身分であり、これを伝達することが権威だ。</p>